

平成30年5月吉日

会員会社代表者各位

経営企画部門・総務部門担当役員様

株式会社 自動車部品会館
(協賛(一社)日本自動車部品工業会)

「中堅・中小自動車部品製造企業の事業承継の進め方」

～企業経営の承継から、株式の承継と税金、技術や技能の承継まで～

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当社の事業につきまして、ご高配ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。

多くの中堅・中小企業が事業承継のタイミングを迎えようとしています。中堅・中小企業に蓄積されたノウハウや技術といった価値を次世代に受け継ぎ、世代交代によるさらなる活性化を実現していくために、円滑な事業承継は極めて重要な課題です。今回、自動車部品製造業を対象を絞り込み、その経営者及び後継者の方々を対象として、事業承継の進め方をわかりやすく解説し、事業承継を成功させるために検討すべき事項をすべて網羅する内容のセミナーを「**中堅・中小自動車部品製造企業の事業承継の進め方**」～企業経営の承継から、株式の承継と税金、技術や技能の承継まで～のテーマにて**平成30年8月2日(木)**に開催いたします。

研修内容の詳細は、別紙のとおりでございますので受講をご希望される方は別紙受講申込書により、平成30年7月26日(木)までにお申込下さいますようご案内申し上げます。

敬具

I. テーマ

「中堅・中小自動車部品製造企業の事業承継の進め方」

～企業経営の承継から、株式の承継と税金、技術や技能の承継まで～

II. 講師：

コンサルティング株式会社
代表取締役 高原 彦二郎 氏

事業承継コンサルティング株式会社
代表取締役 岸田 康雄 氏
取締役 村上 章 氏
パートナーコンサルタント 青木 弘文 氏

III. 日程

開催日時：平成30年8月2日(木)
(午前10時00分～午後4時00分まで)

IV. 開催場所：自動車部品会館 601会議室(6階)
東京都港区高輪1-16-15(同封地図参照)
電話03-5422-6351

V. 受講料：36,000円【税込】(テキスト・昼食代を含む)
(JAPIA会員会社は21,600円【税込】)

◎ 申込要領

①受講申込書に受講者の会社名、住所、電話、所属、役職名及び氏名を明記して、7月26日(木)(必着)までにFAX又はメール及び弊社ホームページよりお申込ください。折り返し申込受付票をお送りいたします。万が一お申込み後に参加を取り消す場合は、必ず下記にご連絡下さいますようお願い致します。

②受講料の請求書を郵送致しますので、銀行振込にて7月26日(木)までにお支払いください。(振込手数料は貴社でご負担頂きますようお願い致します)

③受講希望者が収容定員(20名)になり次第締め切りとなります。

★参加お申込み後のキャンセルは7月26日(木)までといたします。以後のキャンセルはお受けいたしかねます。代理の方にご出席いただくか後日テキストを郵送させていただきます。

★受講希望者が少数の場合は、中止となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

◎ 申込先および問い合わせ先

自動車部品会館 総務部 飯島 電話：03-5422-6351

ijijima@japia.or.jp

「中堅・中小自動車部品製造企業の事業承継の進め方」

～ 企業経営の承継から、株式の承継と税金、技術や技能の承継まで ～

I. 研修関連

★ 研修の趣旨

中小企業経営者の高齢化が進み、今後5年から10年程度で、多くの中小企業が事業承継のタイミングを迎えようとしています。中小企業に蓄積されたノウハウや技術といった価値を次世代に受け継ぎ、世代交代によるさらなる活性化を実現していくために、円滑な事業承継は極めて重要な課題です。この点はオーナー系の多い自動車部品製造業も現在最も頭の痛い経営課題の一つにあげられています。

今回のセミナーでは、自動車部品製造業を対象を絞り込み、その経営者及び後継者の方々を対象として、事業承継の進め方をわかりやすく解説いたします。

金融機関等が提案するような従来型の株式の承継、相続の観点のみならず、自動車系列を意識した事業承継の実例、自社の製品や技術を正しく理解し、現場の技術者の世代交代を進める技術や技能の承継、企業経営を仕事とする社長職の交代、後継者の決意と覚悟まで、事業承継を成功させるために検討すべき事項をすべて網羅する内容を用意させて頂きました。

★ 研修内容

「中堅・中小自動車部品企業の事業承継の進め方」

～ 企業経営の承継から、株式の承継と税金、技術や技能の承継まで ～

第一部 系列を意識した事業承継事例（1時間）講師：高原彦二郎（中小企業診断士・事業承継士）

「三方良しの考え方」をもとに事業承継を進め、系列下による事業承継に導いた自動車部品会社の事業承継事例をもとに、自動車部品特有の系列を意識した事業承継の進め方について解説を行います。

第二部 技術と技能の承継（1時間）講師：青木弘文（中小企業診断士）

中小製造業において、技術競争力が低下している最大の理由が、技術・技能承継の問題であることを明らかにしたうえで、技術・技能の承継において不可欠となる、熟練技術・技能の可視化や、技術・技能人材の育成の方法をご説明いたします。

第三部 起業経営の承継（2時間）講師：村上章（中小企業診断士・行政書士）

（1）組織風土の変革

中小企業は、現社長を中心として動いています。特に、社長がオーナー（大株主）でもある多くの中小企業においてはその度合いが強くなります。それを後継者が経営しやすい形に変えていかなければなりません。例えば、現社長がカリスマ的な存在でリーダーシップが強ければ強いほど、会社の組織風土は指示待ちの姿勢が染み付いているはずで、そのような組織風土のまま、後継者（例えば、協調型・調整型のタイプ）が承継されると、会社は回らなくなるでしょう。そのため、後継者が経営しやすいように組織風土を変えなければなりません。組織風土を変えるためには、経営者側から従業員にアプローチする必要があります。本セミナーでは組織風土の変革についてご説明いたします。

（2）後継者にとっての経営管理

また、経営管理面において、創業者である現社長と違い、後継者は、会社がある程度出来上がった状態で入社することになります。そのため、現社長のように会社とともに成長したわけではなく、事業を隅から隅まで熟知しているわけでもないため、長年の経験の蓄積による直感的な判断を行うことができません。後継者は、社内の情報を吟味して合理的に判断することが求められるのです。そのための情報が収集、分析され、報告が確実に上がってくるような組織の仕組みを構築する必要があります。また、経営判断についても、すべて後継者自ら行うのではなく、権限を移譲したり、専門性や知見のある経営幹部の意見を引出したりすることが求められます。

さらに、後継者を支える次世代の経営幹部が育っているかどうかも重要な問題です。有能な経営幹部は一朝一夕には育ちませんので、計画を立てて育成しながら、上位役職者の引き上げも行って、経営幹部の交代も進めていくことになります。本セミナーでは、後継者にとっての経営管理の方法についてご説明いたします。

（3）後継者のキャリア形成 【グループワーク】

最後に、後継者自身に社長になる決意と覚悟ができていますか。後継者は、サラリーマンになる、自ら起業するといった他のキャリアプランを捨てて、後継者になるという選択肢を自ら選んでいることを自覚しなければなりません。「社長の息子としてレールが敷かれているから」といった消極的な姿勢では、社長は務まりません。また、経営者としての判断力や人間力を鍛えておくことはもちろんのこと、社内外で社長として認められるような人間関係を作っておくことが求められます。なお、経営環境の変化が激しいこの時代、社長交代を事業の革新のチャンスとして捉えることができます。確かに、創業者の理念、伝統、価値観など、未来に引継いでいくべきものはあります。しかし、これまで成功した事業であっても、変化する経営環境に適合しなくなっているものがあるはずで、事業を見直す必要があります。そのためには、後継者がこれから何をやりたいのか、今後の事業の方向性を明確にしておき、その理解者や協力者を増やしおかなければいけません。

【グループワーク】

後継者のキャリアプラン、経営環境の変化と事業戦略の見直し、事業承継計画

第四部 株式の承継（1時間）講師：岸田康雄（公認会計士・税理士）

（1）親族内への株式承継

親族内への株式承継は、相続税・贈与税の問題が関係してきます。中小企業であっても「株式評価が10億円」なんていうケースも多く見られます。このようなケースは経営承継円滑化法の納税猶予制度によって、贈与税をゼロとすることができます。平成30年改正によって使いやすくなった事業承継税制を中心に、親族内へ株式承継についてご説明いたします。

（2）親族外への株式承継（M&A）

親族外への株式承継の方向性には、従業員と第三者の2つがありますが、ある程度の大きな規模になってしまうと従業員承継は極めて困難になるため、第三者への承継（M&A）を考えるべきです。M&Aでは税金の問題よりむしろ、自社をどれだけ高く売却できるかという問題が重要となります。本セミナーでは、中小企業のM&Aの進め方についてご説明いたします。

（3）Panasonicの「でんき屋さん」事業承継支援

中小企業が自ら事業承継を進めるのは、専門家に支払う資金の点において無理があります。傘下にある全国8千店の家電小売店の支援を行うパナソニック社の事例を紹介いたします。

II. 講師

高原彦二郎

コンサルビューション株式会社 代表取締役 中小企業診断士・事業承継士

1980年に出光興産(株)入社。1985年から出光興産(株)ロンドン支店、香港事務所副代表、北京事務所所長、2002年から出光興産(株)海外部海外課課長を歴任後に独立。出光興産在職中、中東駐在員脱出とテロリスト対応のクライシスマネジメント、海外店の内部監査、内部統制システム構築など23カ国の海外子会社経営管理等を経験。2005年7月にコンサルビューション株式会社を設立し、中国、アセアンを中心に、日系企業の経営内部監査、不正監査、内部統制システム等、会計、税務、労務、知財、債権回収、撤退、リストラ等の日本企業のビジネス・リスクマネジメントを手がける。

また、日本国内においても自動車部品のクライアントを多く抱え、経営コンサル、現場改善、人事制度構築のほか、事業承継案件も手掛けている。ジェトロの中国リスクマネジメント委員会委員、中小企業庁・中小機構の海外事業評価委員会委員等を歴任。「中国進出企業の労務リスクマネジメント（日本経済新聞社出版）」など、著書多数。

岸田 康雄

事業承継コンサルティング株式会社 代表取締役 公認会計士・税理士

経済産業省中小企業庁「事業承継ガイドライン小委員会」委員、日本公認会計士協会「事業承継

専門部会」専門委員、一橋大学大学院修了、監査法人にて会計監査及び財務デュー・ディリジェンスに従事。その後、大手金融機関に在籍し、中小企業から大企業まで数多くの事業承継と組織再編をアドバイス。

村上 章

事業承継コンサルティング株式会社 取締役 中小企業診断士・行政書士
コンサルビューション・パートナー・コンサルタント

台東区中小企業診断士会会長。名古屋大学工学部を経て、全国展開の大手小売業F C本部に20年間従事。システム開発部門、スーパーバイザー部門、経営企画部門を担当、執行役員を歴任しました。現在、後継者育成などの事業承継支援、商店街活性化支援を中心に中小企業の経営コンサルティングを行っている。

青木 弘文

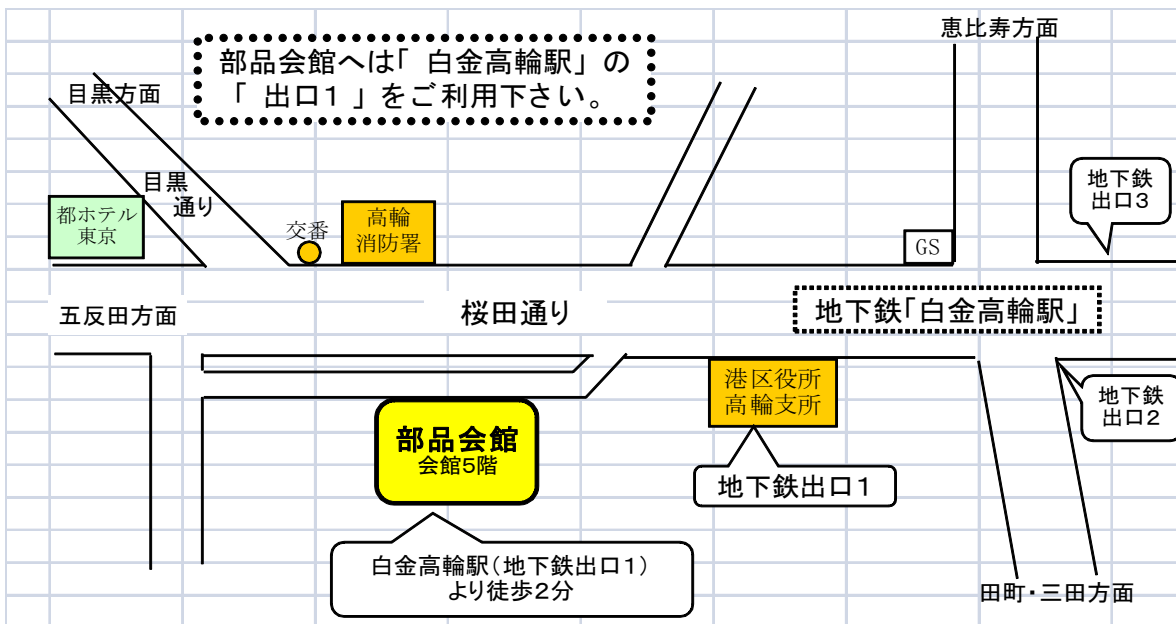
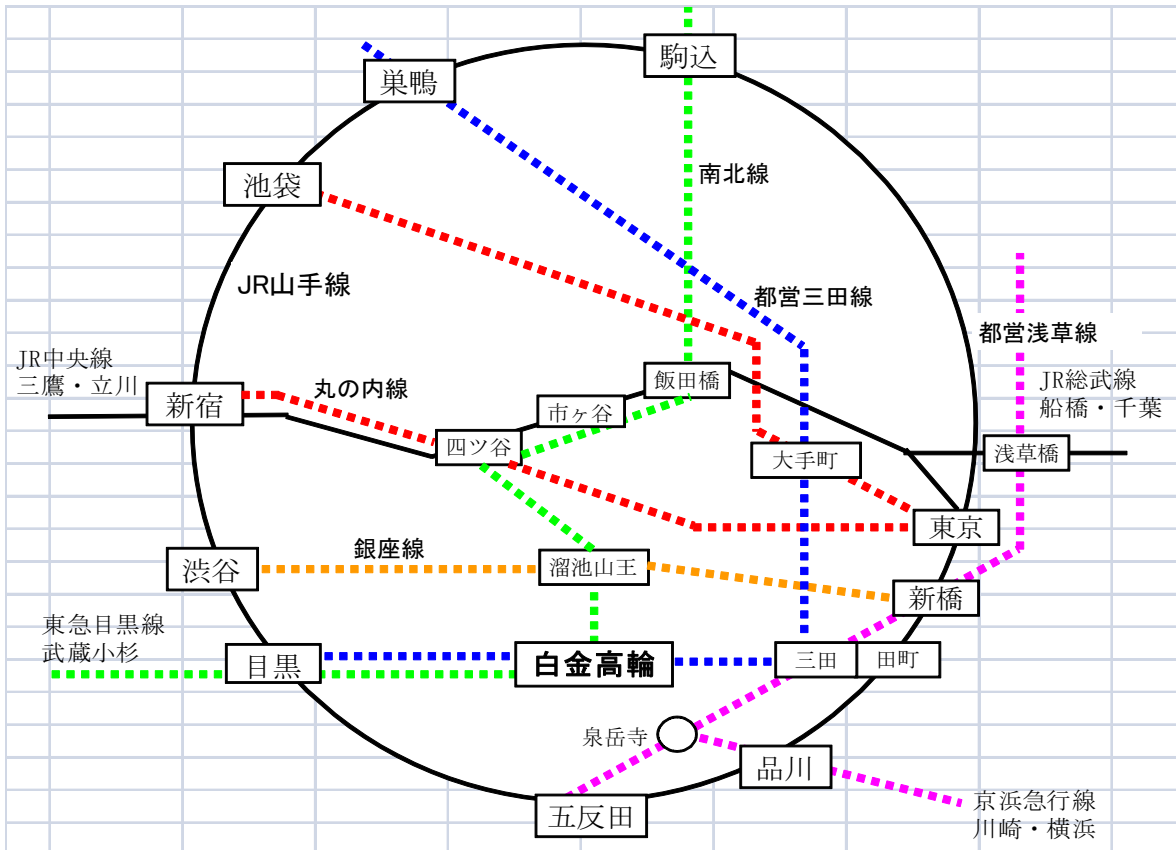
事業承継コンサルティング株式会社 パートナー・コンサルタント
コンサルビューション・パートナー・コンサルタント

板橋区中小企業診断士会会長、荒川区中小企業経営協会副会長。横浜国立大学工学部卒業。NEC・日本電気（株）にて電子交換機部門で設計・生産技術に従事、半導体部門でシステムLSIの開発に従事、企画部門で事業戦略立案に従事した後、現在は、製造業を専門とする経営コンサルタントとして活躍している。

以上

㈱自動車部品会館ご案内図

部品会館の最寄り駅は、地下鉄南北線・都営三田線の「白金高輪」です。



FAX 03-3447-5372

自動車部品会館 飯島宛

2018年8月2日

中堅・中小自動車部品製造企業の事業承継の進め方申込書

申込日： 年 月 日

会社名：

送り先住所： 〒

TEL：

FAX：

メールアドレス

所属・役職：

氏名：

ローマ字：

よみ：

備考：

※申込書受付票を折り返しFAX致しますので、必ずFAX番号もご記入ください。